



オリンピアンを通じて、
オリンピックのチカラを、もっと人へ、社会へ

全ての人々にスポーツへの参加を促し
健全な精神と肉体を持つ人間を育て
オリンピック・ムーブメントを力強く推進する
これを通じて、人類が共に栄え、文化を高め
世界平和の火を永遠に灯し続ける
これこそJOCの理想であり、使命である。

JOC GOAL&ACTION FOR TOKYO 2020

第32回オリンピック競技大会
(東京2020)を通じて
JOCが果たすべき3つの役割と
目標達成に向けた戦略

オリンピズムの
普及、推進

アスリートの
育成・支援

国際総合
競技大会の
派遣・招致、
国際化の推進



JOC'S ROLE 1:

ATHLETE SUPPORT

アスリートの育成・支援

～健全な人間力を礎とした競技力向上～

GOAL

JOC の目標

アスリートファーストを徹底し、
安心してトレーニングに専念できる
環境を整備します。
それにより、金メダル 30 個獲得、
及び全競技での上位入賞を目指します。

人間力の高いアスリート・指導者を
育成し、スポーツの価値を高めます。

パラリンピックとの連携促進を通じた
一体感の醸成により、スポーツの価値の
向上を目指します。

ACTION

達成に向けた戦略

国内競技団体(NF)をはじめ、
スポーツ関係団体との連携の強化



NFのガバナンス強化
(ガバナンスコードの趣旨徹底、
NF総合支援センターを通じた助言)



アスリート、指導者への社会的責任の
自覚形成と教育・研修の徹底
(インテグリティ教育、アンチ・ドーピング教育、
アスリートアプリの利用促進等)



キャリア教育、アスナビの充実・発展

日本パラリンピック委員会(JPC)と
ナショナルトレーニングセンター(NTC)
の共同利用や、パレード、結団式などの
イベント等を通じた連携と、一体感の醸成





JOC'S ROLE 2:

PROMOTE OLYMPIISM

オリンピズムの普及、推進

～国民にスポーツの価値を伝える～

GOAL

JOC の目標

オリンピックへの関心を高め、
そして大きな感動を提供します。

スポーツ及びオリンピックがもたらす
社会的・教育的な意義を発信します。

メダルの獲得だけではないスポーツの魅力や、
多種多様な競技への理解を促進します。

日本オリンピックミュージアム(JOM)の、
オリンピック・ムーブメント発信拠点
としての地位を確立します。

東京2020以降もオリンピズムへの支援を
維持・向上させるための施策を構築します。

ACTION

達成に向けた戦略

日本代表選手団、JOC のメディア露出の
増加、NF と連携した広報強化



オリンピアン、指導者等の、オリンピズム
についての理解と積極的発信の促進



日本オリンピックアカデミー(JOA)や
教育機関などの関係機関との連携



JOMの魅力を高める企画・
コンテンツ作り



パートナー都市やパートナー企業と
連携したオリンピズム事業の拡大



オリ・パラ合同パレードの実施



JOC'S ROLE 3:

INTERNATIONAL ACTIVITIES

国際総合競技大会の派遣・招致、
国際化の推進

～国際平和とプレゼンス向上～

GOAL

JOC の目標

国際総合競技大会に参加する意義、
そしてスポーツを通じた国際貢献の
重要性の理解を目指します。

各国・地域のオリンピック委員会
(NOC)との関係強化により、
国際スポーツ界における
プレゼンス向上を図ります。

2030オリンピック冬季競技大会
招致に向けた機運を醸成します。

ACTION

達成に向けた戦略

組織委員会、IOC、NF、IFなどの
関係機関との連携強化



国際人材の育成



日本人選手と外国人選手の交流や、
他団体と協働した国際貢献事業の
理解促進



海外選手団の事前合宿を受け入れた
自治体でのオリンピック・ムーブメント
活動促進



ジャパンハウス活用やJOCレセプション
等を通じた日本の魅力発信

